



今年もオープニングを飾った水前寺幼稚園の園児による歌



マイボトルを持参した人にお茶をサービスする給茶スポットも登場



広げよう！ ecoのTH



1970年に米国で始まったアースデイ(地球の日)は、今年4月22日に40周年を迎えました。毎年この日を中心に、世界中で地球環境のためのイベントが繰り広げられています。

熊本では「アースウィーク」として約1週間にわたり様々な催しが開かれており、熊本YMCAは開始当初よりその事務局として、市民・行政・企業・各種団体をつなぐ重要な役割を担ってきま

した。21回目を迎えた今年は4月17日(土)、熊本交通センター・センターコート

会場にオープニングイベントが行われました。ユースグループと熊本日日新聞社「日新会」が中心となって実施された新聞エコバッグ作りのワークショップや音楽・お笑いライブのほか、企業ブース、有機野菜などを販売するアースデイマーケットの出店、フェイス&ポディペインティング、

チャリティバザーなど新しい催しも加わり、多くの来場者でにぎわいました。また、「2001年充電の旅」と題し日本全国を巡った電気自動車(メルセデスベンツAクラスを改造)が再び熊本にやってきて、オープニング会場を彩りました。

さらに、17(土)・18(日)にサンロード新市街で環境パネル展が行われ、環境問題への取り組みについて各団体がPRしました。熊本YMCAでも賛同イベントとして25日(日)までの期間、植樹活動や地域清掃など、県内各地で様々な活動が行われました。

イベントによる市民啓発から始まったアースウィークくまもとは、環境保護に対する意識や地球温暖化防止への関心の高まりとともに、より身近に環境問題について考える機会を提供しようという活動の輪を広げています。



国体道路の清掃後、エコセミナーでゴミ問題を通して地球のためにできることを考えました。



上通界隈のゴミ拾い、ガム剥がし、落書き消しを、総勢23名でしっかり行いました。



清掃活動とカーヌ体験・生きもの探しに150名を超える参加がありました。



八代の玄関口となる新八代駅でゴミ拾いを行い、爽やかな汗を流しました。



YMCA野外活動クラブ合同で阿蘇のYMCA植林地でくぬぎの木の植樹を行いました。



地域の清掃活動を通して、地球環境に対する意識を強く持つようになりました。



生徒たちがエコの取り組みや考えについて調べた結果をパネル展示しました。



親子、学院生と一緒に地図を片手に熊本城を歩き、周辺の自然、環境保全の大切さを学びました。



YMCA周辺を歩いて清掃&エコイズ、その後ダンボールコンポスト講習会を行いました。

インディアンズクラブ 40周年記念キャンプ

4月17日(土)

18日(日)、阿蘇YMCAで「ありがとう40周年」と題して、野外活動クラブ・インディア

ンズクラブの記念キャンプが行われました。現役クラブの子

どもたちと一緒に、遠くは長野や大阪からリーダーOB・OGが集い、BBQやキャンプファイヤー、懇親会を

通じてインディアンズクラブのスピリットを共有し、交流を深めました。

圧巻は子どもたちと合同で実施したキャンプファイヤーで、OBによるインディアン

の登場は、これぞインディアンズクラブのキャンプファイヤーと言わんばかりの演出でした。また、伝統とな

っている誓いの水の儀式も現役の子

どもたちによって厳粛にとり行われ、印象に残るキャンプファイヤーとなり

(野外教育部 松田 誠一)

